

つくば市民白書 2012 実行委員会 第 2 回会合まとめ

日時：2010年6月26日(土)13:00-16:10

場所：並木公民館

出席者：河村、亀山、大庭、児玉、寺門、野崎、山本、矢澤、酒井、原田

議題：

- (1) 経過報告
- (2) 勉強会：TX 沿線開発の課題(酒井泉氏)
- (3) 協議
- (4) その他

(1) 報告

①経過報告

4月29日第1回実行委員会のおと4月30日に実行委員会メーリングリストを立ち上げた。現在実行委員会は21名である。

遠藤 茂	酒井 泉	野崎 浩司	山本 千秋
大庭 英雄	鈴木 太美雄	早川 公	横井 美喜代
岡野 一雄	塚本 宏幸	原田 泰	児玉 正文
亀山 大二郎	寺門 宏倫	矢澤 容子	
川中 裕史	樋田 幸夫	安田 早苗	
河村 俊次	野口 修	矢作 榮一	

②4月29日、2008年白書残務整理担当者の横井さんより、2012年白書会計に25000円の納付があった。6月26日現在収入：25,000円(白書2008残務会計より)、支出：20,575円、残高：4,425円である。

(2) TX 沿線開発の状況と問題点

13:30から15:00、まで酒井泉さんよりTX沿線開発の現状と問題点について、葛城地区(研究学園都市駅)と中根金田台地区の2ヶ所について報告と問題提起があった。TX沿線開発は旧集落も整理して宅地化して大規模な市街地を造成する計画であり、バブル崩壊後都市計画を見直すべきだったのに行わなかったため人口が張り付かず、今後土地が売れなくなり県、つくば市の財政に大きな被害を与えることが明らかになった。市役所は学校などの公共施設を作ることができず、魅力的な町が作れないため、売れなくなる。

中根金田台では緑住農開発をめざしているが、南西部の国指定の遺跡がある地域の買い取りを巡ってURと市が対立している。北西部の保安林に隣接する1.5ha部分も市に買ってもらいたいを買おうとせず、緑地の魅力が半減するので心配している。11月20、21日にUR地区協議会、つくば市の共催でシンポジウムを企画している。都市計画について発表した内容を専門家にレビューしてもらい提案書を出してもらうことを計画している。

(3) 協議事項

①「つくば市民白書2012企画(案)」

2012年版の費用として140ページ2000部で印刷費80万、その他50万と見積もった、1冊800円で釣り合うとの事務局案に対して、500円から1000円の意見が出た。今後更に検討を続ける。

②次回

次回は7月31日(土)13:00から(場所未定)。

亀山氏がつくば市の財政について報告を行う。

(以上)